

第二東京弁護士会と台北律師公會の間に於ける友好協定書

台北律師公會と第二東京弁護士会とは、

国際社会及びグローバル経済において相互依存が進展しており、両弁護士会及び会員間の相互理解を深めて行くことが弁護士団体として望ましいものであることを認識し、

両弁護士会の会員間の交流及び情報等の交換を通じて友好と協力に基づいて相互の有益な関係を発展させることの重要性を認識し、

両弁護士会の交流を通じて法曹団体としての相互の理解を深めるため、

本目下記の通り友好協定を締結する。

記

第1 両弁護士会は、それぞれの弁護士会の任務遂行に有益な情報を、相互に提供し合う。

第2 両弁護士会は、相手方弁護士会から会員の情報の提供を要請された場合は、弁護士会の定めるルールに従って、会員についての必要な情報を提供する。

第3 両弁護士会は、国際連合の各機関・国際会議参加の機会その他で同席したときは、積極的に二国間交流を行う。

第4 両弁護士会は、会員が弁護士会を経由して相手方弁護士会に事前に連絡した上、相手方弁護士会を訪問したときは、誠意を持って応対する。

第5 両弁護士会は、本協定の下で両弁護士会が適当と考える他の活動を行う。

第6 本協定は相互の弁護士会に何らの法的義務・財政的負担を負わせるものではない。

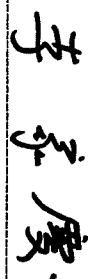
第7 本協定の有効期間は5年間とする。

以上

2010. 3. 31



第二東京弁護士会 会長



台北律師公會 理事長

台北律師公會與第二東京弁護士会友好協定書

台北律師公會與第二東京弁護士会基於以下認知：

在國際社會與全球經濟的更加緊密依存之下，兩律師公會與會員之間能進行更深入之相互理解，是律師團體所深切期望

在友好、合作的基礎之上，透過兩律師公會及會員間之交流與資訊交換，發展出互益關係之重要性

爲了透過兩律師公會之交流，加深雙方做爲法曹團體之互相理解

締結如下友好協定

第一條

兩律師公會將互相提供有益於遂行律師公會任務之各種資訊。

第二條

兩律師公會於受對方律師公會請求協助提供會員情報時，將遵從律師公會所定規則，提供與會員有關之必要資訊。

第三條

兩律師公會於共同參加國際組織、國際會議等機會，將積極進行兩國間之交流。

第四條

兩律師公會，在會員經由律師公會事前聯繫對方律師公會後，於對方律師公會進行訪問時，將以誠意接待之。

第五條

兩律師公會於本協定之下，得舉辦適合於兩律師公會之其他活動。

第六條

兩律師公會不因本協定而相互負有任何法律上義務與財政負擔。

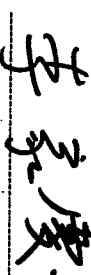
第七條

本協定有效期間爲五年。

以上

2010. 3. 31

簽名



台北律師公會 理事長



第二東京弁護士会 会長